



# 泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」



泗水小学校  
学校だより No15  
文責 芹川博文  
8月28日(月)

## 今日から前期後半がスタート

Creative (思い描く) → Active (やってみる) → Reflective (味わう) を大切に

※スタート集会で子どもたちに話す内容をもとに、お伝えします。

\*\*\*\*\*

37日間の夏休み、いかがでしたか。夏休みに入る前に話した「自ら考える力」は十分に試せましたか。計画通りにいかなかったことも多かったかもしれません。でも大丈夫です。思い通りにならなかったことも含めて、自己コントロール力をつける「学び」の機会となったことでしょうか。できなかったことより、できたことを大切にスタートしましょう。

夏休みに入る前の日に話した2つのポイントは「本物に触れる」と「平和について考える」でした。どんな体験をしましたか。

### 「本物に触れた」この夏の体験

私の「本物に触れた」この夏の体験は泗水の夏祭りです。完全復活の祭りは4年ぶりだと聞きました。その4年分の熱い思いが伝わってくるような人出で、あんなにたくさんの方が集まった孔子公園を初めて体験しました。花火も物凄いインパクトでした。特に一発目。祭りの準備をされた人々の思いがこもっている一発だと感じました。



大勢の人混みの中、何人も泗水小の皆さんとも会いました。会った時、「あっ、校長先生だ」「こんばんは」など、挨拶をしてくれました。中には、20数年ぶりに会う元教え子の人からも、声を掛けられました。笑顔でのあいさつや、声の掛け合いは、こんなにも温かいものかと感じました。泗水っていいなあ、と改めて感じた夜となりました。

### 爽やかなあいさつが響く学校に

さて、今日から前期後半がスタートします。前期後半は、今日から10月の秋休みまでの6週間です。そのうち、学校に来る日は29日間です。短いですね。

さあ、どんな前期後半にしますか。どんな自分になりたいか。どんな学級や学年、学校にしたいか思い描き、小さなことからでいいので始めてみましょう。

前期後半をスタートするにあたり、私から

➡ 提案とお願いがあります。皆さんと一緒に、「爽やかなあいさつが響く泗水小」を目指したいのです。想像してみてください。廊下や階段ですれ違う時、あいさつの声が響き合う泗水小学校。学校全体が明るく、温かい雰囲気になると思います。友達のちょっとした変化にも気付けるかもしれません。

実現するためには、児童会の皆さんや先生方のアイデアや協力が必要です。前期前半は、「廊下は走らずに歩く」ができた皆さんです。あの時も、生活・安全委員会のメダル大作戦など、児童会の皆さんのアイデアと取組が光っていました。泗水小学校と言えば、「爽やかなあいさつが響く学校」と、みんなが自信をもって言える学校になればと思います。そして、このあいさつを出発点にして、一人一人の心がつながり合い、557名（※今日から2名の転入生です）全員が、「明日が楽しみ」と言える泗水小になることを心から願っています。

## スタート集会も自分たちで

スタート集会も児童が活躍します。前期前半の集会での発表や進行も見事でした。今後も児童の可能性を伸ばす場を大切にしていきたいと思っています。

【「前期後半に向けて」の作文発表児童】

1年3組 釜 希々花 さん

3年3組 大島 朔 さん

5年2組 山川 侑愛 さん

【校歌ピアノ伴奏児童】

6年3組 宮本 弥那 さん

## 1時間であっという間に

8月19日(土)、早朝からの愛校作業、大変お世話になりました。見違えるようにきれいになった学校で、子どもたちを迎えることができます。保護者の皆様、ガーデニングクラブの皆様、本当にありがとうございました。

